

第5期川崎区区民会議 中間報告書（概要版）

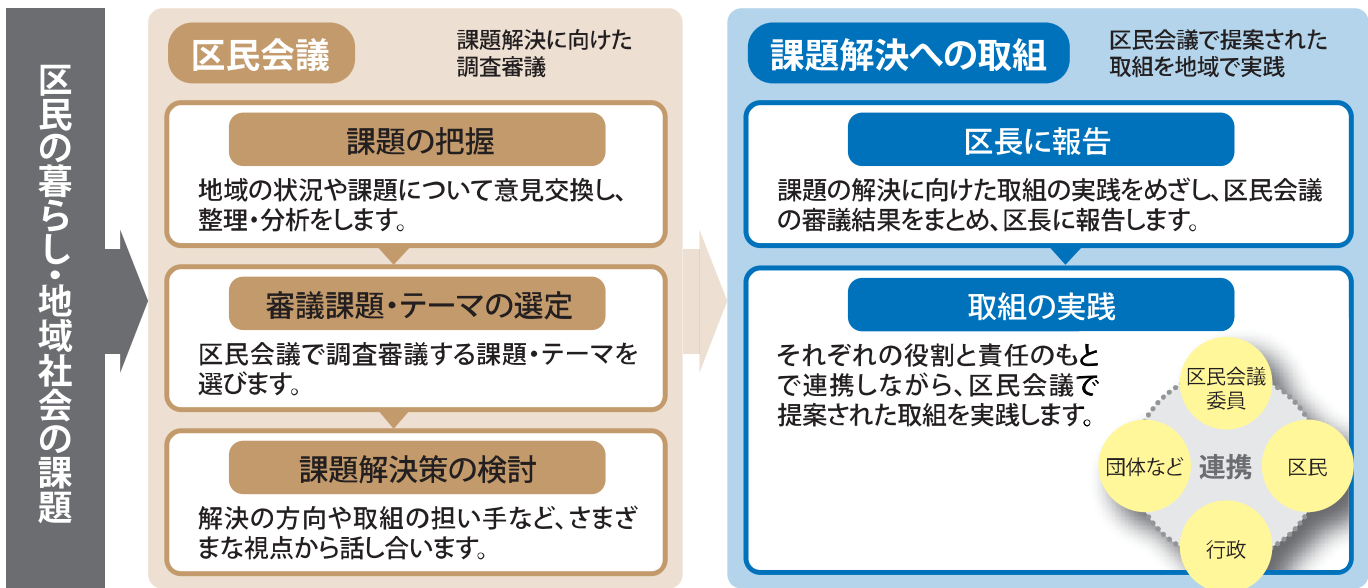


平成27年3月
川崎区区民会議

区民会議とは

区民会議は、暮らしやすい地域社会をめざして、区民のみなさんが中心となって参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。

区民会議は、平成18年に始まり、平成26年4月から第5期（任期2年）がスタートしました。



第5期川崎区区民会議の経過

第5期川崎区区民会議では、次のような経過で専門部会を設置し、審議課題の設定を行いました。

区民会議委員から出された区の課題・平成25年度区民アンケート

地域のまちづくりなどに関する課題

災害対策／防犯・防火／交通安全
環境美化・地域緑化／観光・文化
地域コミュニティの活性化 など

地域の保健福祉や多文化共生などに関する課題

高齢者・障害者福祉／子育て
教育／生涯学習
外国人市民に関する事業 など

地域を育むまちづくり部会

《審議テーマ》

- ◆ 防災対策の充実
- ◆ 子どもの遊び場づくり
- ◆ 交通安全対策の推進

だれもがいきいき暮らす部会

《審議テーマ》

- ◆ 地域における見守り活動の充実
- ◆ 子育てを通じた世代間交流
- ◆ 外国人市民も暮らしやすいまちづくり

第5期川崎区区民会議委員

第5期川崎区区民会議では、以下の委員で課題解決に向けた調査審議を行っています。委員は、各団体からの推薦や公募によって選出されています。

【第5期川崎区区民会議委員（任期：平成26年4月～平成28年3月）】

（敬称略）

●新井トキ子（安全・安心まちづくり推進協議会）	金岩 勇夫（かわさき歴史が'ド'協会）	埜瀬 晴美（公募）
石渡 勝朗（保護司会）	中村紀美子（文化協会）	朴 昌浩（公募）
畑 敏雄（社会福祉協議会）	赤間 靖夫（まちづくりクラブ）	荒巻 裕子（区長選任）[子ども関係]
塚原 晴美（PTA協議会）	深瀬欣之助（連合町内会）	知念ジョアンナ（区長選任）[外国人市民]
山田 義孝（民生委員児童委員協議会）	寺尾 宇一（商工会議所）[～H26.12.10]	○原 千代子（区長選任）[多文化共生・子ども関係]
原田 歩（市民健康の森・海風の森をMAZUつくる会）	新井 一成（公募）	森脇 卓郎（区長選任）[高齢者関係]
○戸村 正房（かわさきゆまねジエノメト機関）	岩瀬 絹代（公募）	●副委員長 ○部会長

平成26年度川崎区区民会議フォーラムの開催

区民会議の審議内容を区民に広く周知するとともに、審議内容について区民から意見を伺うことを目的として、区民会議フォーラムを開催しました。

今年度は、区民会議の共感できる取組にシール投票を行う「区民会議ポスターセッション」を実施したほか、「地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式」と「子どもから大人まで楽しめる落語」を同時開催しました。

開催概要

日時：平成27年2月28日（土）
午後2時～4時
会場：川崎市役所第4庁舎
参加者：約80人

当日のプログラム

- ◆第5期川崎区区民会議審議内容の報告
- ◆地球環境問題啓発ポスターコンクール表彰式
- ◆子どもから大人まで楽しめる落語
- ◆区民会議ポスターセッション



区民会議審議内容の報告



地球環境問題啓発
ポスターコンクール表彰式

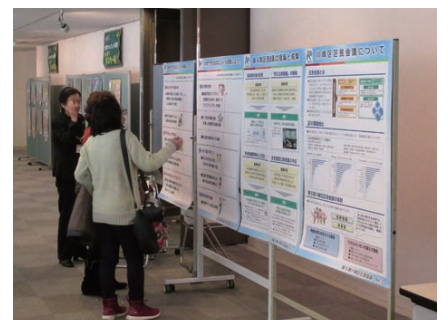


子どもから大人まで楽しめる落語

区民会議ポスターセッションの結果

第5期区民会議審議内容の共感できる取組についてのシール投票では、「子どもが自由に自然にふれあえる場の確保・創出」が最多の共感が得られ、次点は「自転車マナーの向上の検討」でした。

その他に、「区民会議の検討内容を市政に反映してほしい」、「防犯対策の充実を」といったご意見をいただきました。



区民会議ポスターセッション

第5期川崎区区民会議の審議テーマの実施方針

この1年間、調査審議してきた内容を審議テーマごとに分類し、実施方針としてまとめました。

審議テーマ1：防災対策の充実

■解決策① 地域で防災マップづくりを推進するための「(仮)安全マップづくりマニュアル」の作成

小学校区や町会単位の防災マップを、地域住民が自ら発意し作成できるように、マップの作成方法や作成の過程をまとめたマニュアル「(仮)安全マップづくりマニュアル」を作成します。



■解決策② マイ防災手帳の作成を通じた「家族防災会議」の推進

災害が起きた直後は「自助」がとても重要になります。また、各家庭で防災について話し合うことは「自助」の強化につながり、自分や家族を守ることにもつながります。そこで、各家庭で防災について話しあうきっかけを作るため、マイ防災手帳の作成を推進します。

■解決策③ 自主防災組織のあり方の検討

町内会・自主防災組織などが、独自に防災に関する活動を行っています。しかし、団体同士の連携が十分ではないという現状があります。そこで、町内会・自主防災組織などの各団体が連携して、活動していくための仕組みを検討します。



審議テーマ2：子どもの遊び場づくり

■解決策① 子どもが自由に自然とふれあえる場の確保・創出

昨今、公園などには規制や禁止事項があり、子どもが自由にのびのびと遊べる場所や、自然にふれあえる場所が減少しています。

そこで、子どもが自由に遊べる場所や自然とふれあえる場所を川崎区内に確保・創出していくことについて検討します。



■解決策② 公園の管理・運営のあり方の検討

公園は、子どもの遊び場としての機能だけではなく、自然にふれあう場所であり、災害時には大きなスペースを活用できる場でもあります。

今後は、地域住民が自ら公園の管理・運営を行い、誰もが楽しめる世代間交流の場を創出していくことについて検討します。

審議テーマ3：交通安全対策の推進

■解決策① 自転車マナー向上の検討

川崎区は自転車事故多発地域に指定されているため、自転車マナー向上のための取組を検討していきます。



審議テーマ4：地域における見守り活動の充実

■解決策① 各団体で実施している高齢者などを見守る活動の実態調査と成功モデルの普及

見守り活動を行っている多様な団体の実態を把握するために、アンケート調査を実施します。アンケート調査は高齢者の見守り活動だけでなく、子どもや障害者などを見守っている活動も対象とします。また、アンケート調査後は、アンケート結果を分析し、成功モデルの普及について検討します。



■解決策② 見守り活動を行っている各団体の連携方策の検討

見守り活動を行っている団体はたくさんありますが、団体同士の連携がもっと良くなれば、見守り活動の内容も一層、充実すると思われます。

そこで、見守り活動を行っている各団体に呼びかけを行い、情報交換会を定期的に行う仕組みをつくり、連携ネットワークを構築します。

審議テーマ5：子育てを通じた世代間交流

■解決策① 子ども育成支援団体同士の情報交換会の開催・展開

平成26年1月に第1回情報交換会を開催した「大師地区」において、第2回情報交換会の開催を検討するとともに、新たに「田島地区」での第1回目の情報交換会を開催します。

今後は、情報交換会の開催に向けた体制づくりと子ども育成支援団体のネットワークの構築に向けた取組を審議していきます。

■解決策② 絵本の読み聞かせなどによる世代間交流の実態把握と促進策の検討

世代間交流に関する活動や団体の実態を調査し、世代間交流の促進に向けた取組を検討します。



審議テーマ6：外国人市民も暮らしやすいまちづくり

■解決策① 外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催

外国人市民の多い川崎区において、災害時に弱者となりやすい外国人市民に向けた防災の取組を発信することはとても重要です。

そこで、外国人市民の集まる場所での「防災フォーラム」を継続的に開催する体制を作り、外国人市民の防災意識の向上を図ります。

第5期川崎区区民会議の提案

審議テーマの実施方針のうち、具体的な解決策が決まったものや既に取り組を実施したものについて、区民会議から区へ提案します。

外国人市民も暮らしやすいまちづくりに向けて

「外国人支援団体と連携した防災フォーラムの開催」

区内には多くの外国人市民が生活しています。外国人市民が安全・安心に生活を営むため、外国人支援団体と連携した外国人市民向けの防災フォーラムを定期的に開催することを提案します。

平成27年2月には、第1回防災フォーラムをカトリック貝塚教会で実施しました。当日は約80人の外国人市民が参加し、防災についてのビデオ鑑賞、避難時に確認する事項などを学んだ後、防災体験（消火器の使い方、煙体験、地震体験）を実施しました。参加者は、「初めて防災訓練に参加して、事前の備えの大切さが分かった。」「国籍に関わらず、皆で助け合うことが大切だと感じた。」などの感想を述べていました。

第4期川崎区区民会議の主な成果について

海拔表示板の設置

「海拔」と「浸水深」を表示したアクリル製のプレート（写真右上）を作成し、町内会・自治会の掲示板等を中心に約900箇所に設置しました。その後、区内の公共施設約120箇所に設置しました。



「防災出前講座」の開催

平成26年3月に殿町小学校で臨海部の行政機関や企業の災害対策を伝える最初の防災講座を開催しました（写真右）。



予防接種の接種率向上に向けた取組

予防接種の重要性などへの理解を深めるチラシ「お子さんの予防接種の計画を立てましょう」を日本語版に加え、6カ国語版で作成しました。

多言語（6カ国語）窓口問答集の作成

区役所の窓口業務を行う職員へのアンケートや外国人市民を対象にヒアリングを行い、ニーズの高い事例について、平成26年度に外国人市民向けの窓口応接資料の多言語化（6カ国語）を実施しました。

第5期川崎区区民会議中間報告書（概要版） 平成27年3月

◆事務局 川崎区役所まちづくり推進部企画課
住 所：〒210-8570 川崎区東田町8番地
電 話：044-201-3267
F A X：044-201-3209

◆川崎区ホームページ（川崎区区民会議のページ）

<http://www.city.kawasaki.jp/kawasaki/category/94-10-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>